

カツオ 大西洋

Skipjack, *Katsuwonus pelamis*



管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

最近の動き

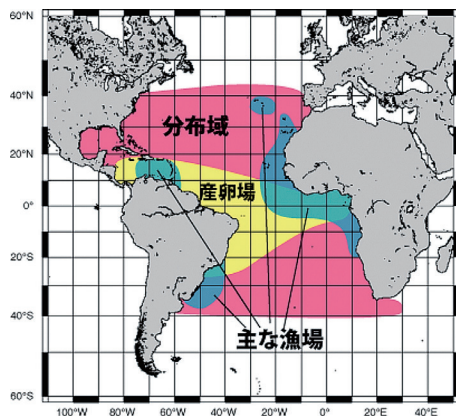
2014 年 6 月に ICCAT において資源評価が実施された。東部大西洋ではそれぞれの漁業の CPUE の動向が異なり、信頼できる MSY が推定されなかったが、乱獲状態に陥っていることを示す指標も認められなかった。西部大西洋では MSY は 30,000 ～ 32,000 トンと推定され、 B_{2013}/B_{MSY} がおよそ 1.3、 F_{2013}/F_{MSY} はおよそ 0.7 であるとされ、乱獲状態ではないと推定された。しかしながら、同年 11 月に行われた ICCAT 年次会合では、データ不足に起因する資源評価の不確実性が調査統計委員会 (SCRS) から指摘されていることを踏まえ、既存の熱帯まぐろ類にカツオを追加し、カツオを漁獲する漁船についても漁船登録や禁漁期等が設定されることになった。

生物学的特性

- 寿命：6 歳以上
- 成熟開始年齢：満 1 ～ 2 歳
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温 24℃以上の海域
- 索餌場：熱帯～温帯域
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：まぐろ・かじき類、さめ類、海鳥類など

利用・用途

缶詰など加工品



大西洋のカツオの分布域、産卵場及び主な漁場

漁業の特徴

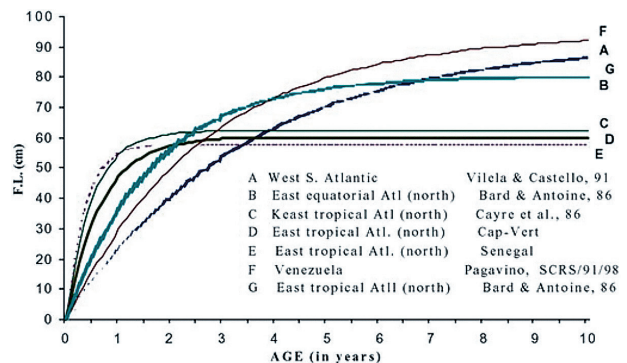
主要な漁業は、東部大西洋でのスペインのまき網、ガーナ、スペイン等の竿釣り、西部大西洋でのブラジル等の竿釣り、ベネズエラによるまき網である。ひき縄やはえ縄でも、わずかに漁獲される。東部大西洋では、近年パナマの漁獲量が増加し、フランスやポルトガルよりも多くなった。主な漁場は、アフリカ西岸ギニア湾の赤道を中心とした熱帯域～北西岸モーリタニア沖のまき網漁場と、ブラジル南東岸沖の竿釣り漁場である。まき網は、1991 年から FADs (人工流木) 操業が本格化し、漁獲量が増大した。

漁業資源の動向

年間漁獲量は 1960 年代には 1 ～ 5 万トン、1970 年代には 5 ～ 12 万トン、1980 年代には 11 ～ 16 万トンで推移した。まき網の FADs 操業開始により、1991 年 22 万トン、1993 年の 20.6 万トンがピークで、1995 年以降は 11 ～ 17 万トンで推移している。しかし、2012 年は 25.8 万トンと歴史的に最も多い漁獲量を記録し、2013 年も 24.9 万トンの漁獲があった。日本の竿釣りは、1980 年代前半まで東部大西洋で操業し、1976 ～ 1981 年には 1.2 ～ 1.7 万トンを漁獲したが、現在は行われていない。

資源状態

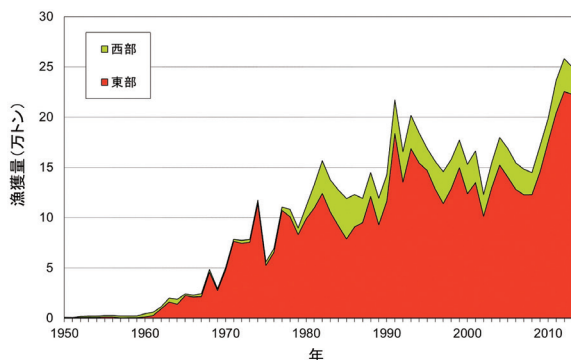
2014 年 7 月に ICCAT において資源評価が実施された。大西洋における本種の生物・漁業学的特徴を考慮して東部・西部大西洋の 2 海域に区分して資源評価を実施した。東部大西洋では 2 種類のプロダクションモデル (BSP、ASPIC) 及びその他の 2 種類のモデル (漁獲量のみを用いる資源評価モデル、Gedamke and Hoenig model) を用いて解析を試みた。これらのモデルからは信頼性のある MSY が得られなかったが、乱獲状態に陥っていることを示す指標も認められていない。西部大西洋では MSY は 30,000 ～ 32,000 トンと推定され、 B_{2013}/B_{MSY} はおよそ 1.3、 F_{2013}/F_{MSY} はおよそ 0.7 である可能性から、西部大西洋では乱獲状態には陥っていないと推定された。



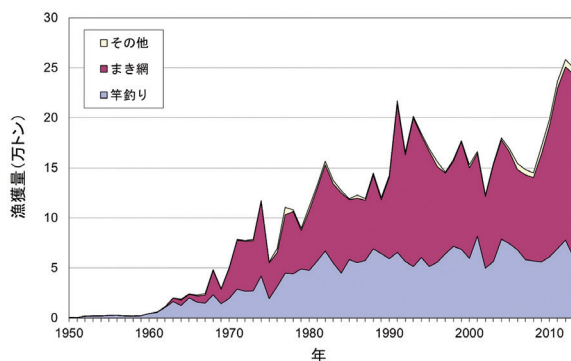
大西洋のカツオの年齢と体長の関係
A ～ G の曲線は各海域で報告されたカツオの成長を示す。

管理方策

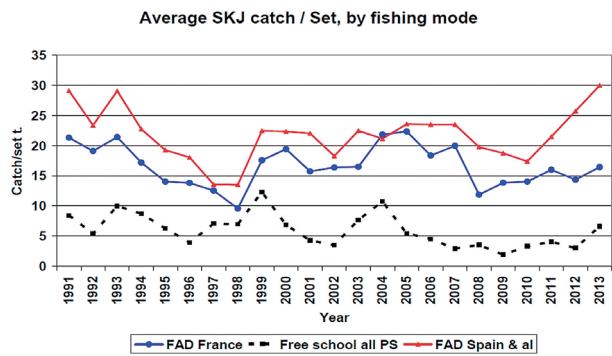
2014 年の ICCAT 年次会合において、既存の熱帯まぐろ保存管理措置に含める形で、管理方策が初めて設定されることとなった。それにより、カツオを漁獲する漁船の ICCAT への登録、FADs 操業の禁漁区・禁漁期等が設定されることとなった。



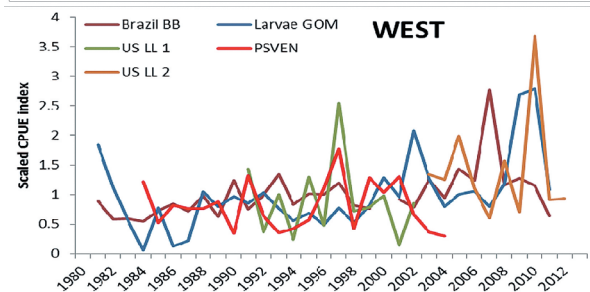
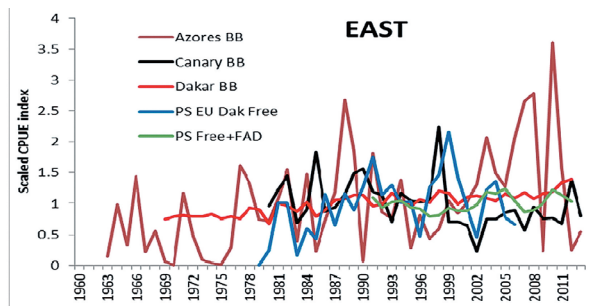
東部及び西部大西洋におけるカツオ漁獲量の年変化



大西洋におけるカツオの漁法別漁獲量の年変化

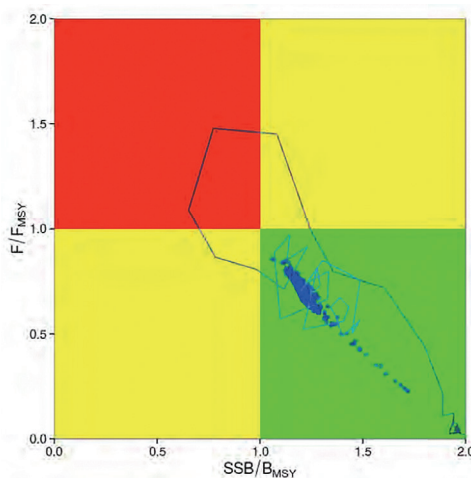


東部大西洋におけるまき網によるカツオ漁獲量（1 操業あたり漁獲量）の経年変化
 FAD France：フランスのまき網船・FADs 操業、FAD Spain & al：スペイン・その他のまき網による FADs 操業、Free school all PS：まき網による素群れ操業



東部大西洋（上）及び西部大西洋（下）におけるカツオ CPUE の経年変化

Azores BB：アゾレス諸島の竿釣り、Brazil BB：ブラジルの竿釣り、Canary BB：カナリア諸島の竿釣り、Dakar BB：セネガルの竿釣り、Larvae GOM：メキシコ湾における仔魚採集データ、PS EU Dak Free：ダカールに水揚げされたヨーロッパまき網船の素群れ操業、PS Free+FAD：まき網（素群れ＋FADs 操業）、PSVEN：ベネズエラのまき網、US LL：アメリカのはえ縄



Schaefer 型の ASPIC から推定された西部大西洋のカツオにおける B/B_{MSY} と F/F_{MSY} の歴史的推移

カツオ（大西洋）の資源の現況（要約表）	
資源水準	高位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量（最近 5 年間）	17.1 ～ 25.8 万トン 平均：22.2 万トン (2009 ～ 2013 年)
我が国の漁獲量（最近 5 年間）	1 ～ 5 トン 平均：2 トン (2009 ～ 2013 年)
最新の資源評価年	2014 年
次回の資源評価年	未定